

神辺旭高等学校 第2学年 国語科（現代文B）単元指導計画

1 単元名

- ・比較（二項対立）に注意しながら評論を読み，論理性を評価する。（西谷修「いのちのかたち」『精選現代文B』明治書院）

2 単元の目標

- ・比較（二項対立）に注意しながら評論を読み，論理性を評価することができる。

3 単元の計画（全4時間）

時	主な学習活動
1	導入ワークシートで「いのち」のイメージをワードマップを使って膨らませる。本文の論理性を評価するという目標を知る。2段落までを読み，「いのち」を考えるときの手法として，取られている方法を考えたうえで，筆者の考える「いのち」と自分たちが考えたものとを比べる。
2	p141 L4「それは長さを限られているという意味においてだけでなく，初めと終わりを他者との「分有」に支えられているからである」という一文の意味を，ほかの班の人が分かるように（自分たちが思いつかなかった筆者の発想を中心にして），全員が説明する。
3	p142 L3「むしろそれは人間にとって真に問うに値する問いであるかもしれないからだ」というふうに，「生命」と「いのち」をどうつなぐか，という問いが重要だと筆者は述べている。次時に他の人に説明することを前提に，この筆者の主張を分析しながら理解する。 →本時
4	筆者が主張を導くために，ここまでどのように筆者が論を展開してきたかを整理したうえで，その論理展開が妥当であるかどうか，他の人に分かるように全員が説明したのち，個人作業で文章を書くときに気を付けることをまとめる。

4 本時の目標

- ・筆者の主張をまとめることができる。

5 学習の流れ（3時間目／全4時間）

学習活動 (○発問，●予想される生徒の反応)	指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 課題意識をもつ 他の人に評価してもらうことを知る。	◇評価は前回までと同様に，ABCでノートに書くことを示しておく。	
2 本時のめあて（課題）提示		
他の班に発表するために，筆者の主張をまとめよう。		
3 個人でプリントの問を解く	◇p142 L3「むしろそれは人間にとって真に問うに値する問いであるかもしれないからだ」について，「それ」を明らかにしつつ，本文全体をふまえながら，解釈するように伝える（15分程度）。 ◆本時までに考えてきた「いのち」「生命」の二項対立を参考にするように伝える。	筆者の主張について理解し，説明している。 〔読む能力〕 〔記述の確認〕
4 グループ活動 グループで意見を共有し，筆者の主張について解釈していく。	◇グループ内の全員が説明できるように協力する必要があることを伝える（15分程度）。 ◇余裕がある班には，次時に説明することになる論の展開の妥当性を考えさせておく。	
5 相互評価をする	◇3人分の評価をもらうように伝える（10分程度）。 ◇全員で立ち歩いて評価者を探させる。 ◆3人分の評価をもらっていない生徒については，評価等が終わった生徒に協力させる。	
6 振り返り	◇自分のノートに記された評価を見たり，評価者と話をしながら，自分の説明の改善点について考え，次時の参考とする。	